

和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院内科

当科の特徴

紀北分院では総合診療専門研修を行い、屈指の高齢化県である和歌山県における総合診療を牽引する人材を育成します。日本は高齢化の一途をたどっており、医療ニーズの高い高齢者に対して良質の医療をいかにして提供していただけるかが重大かつ喫緊な課題となっています。しかしながら医師および医療資源は都市と地方において格差が歴然とあり、さらにその差は大きくなりつつあります。この深刻な状況において、地域医療は特殊疾患の専門医療を拠点病院で、プライマリケアおよび common diseases への診療を身近な医療機関で行うモデルが提唱されています。総合診療は身近でありながら高品質であり、かつ専門医療との連携も効率的に行う役割を担っており、今後の超高齢化する日本社会において大きな役割を果たすと期待されています。紀北分院は地域の要請により戦前に設立された「紀北病院」を基盤にしており、地域病院としての性格を強く持っています。もともと地域住民にとって敷居の低い、気軽に相談できる病院であり、大学附属病院でありながら基本的な地域医療ニーズに応えられる市中病院としての機能を担っており、大学附属病院で地域医療

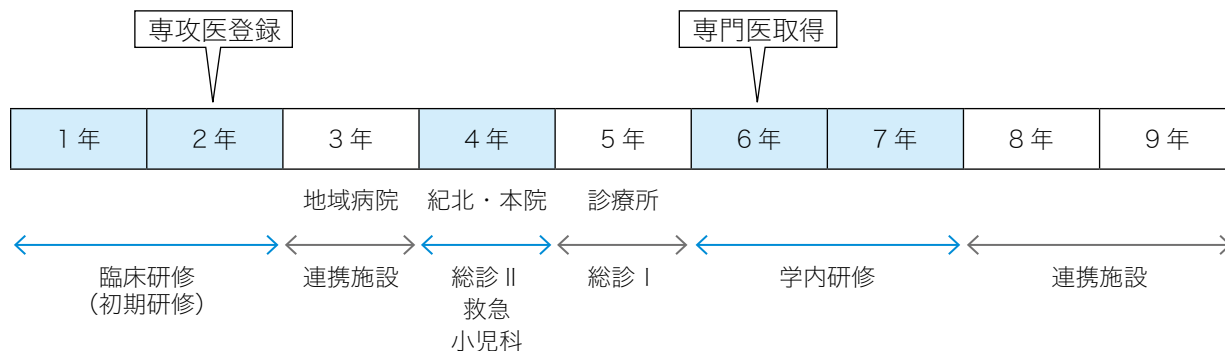
を経験できる貴重な医療施設です。この特徴を活かし、当科では和歌山県の地域医療を担う、ジェネラリストマインドを持った若手医師とともに、成長を喜びにできる研修を行います。



ローテーション例

総合診療専門医研修コース

※ □ は学内研修

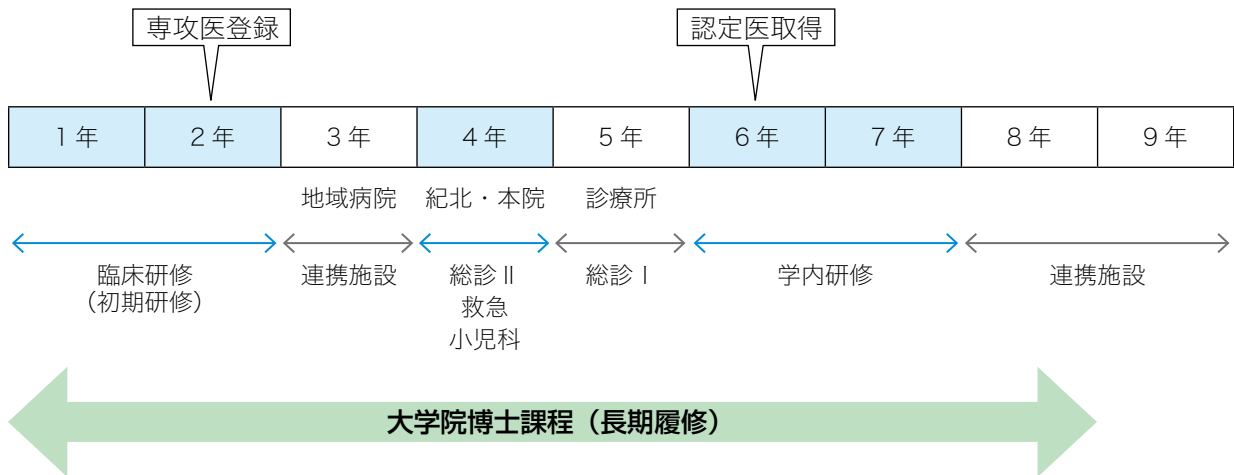


これからの和歌山県の地域医療および総合診療を支えるため総合診療医を育成するための研修スケジュールです。プログラムの詳細については卒後臨床研修センター HP (<http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/koki/koki-program.html>) の一番下段にあります。地域枠、県民枠、一般枠にかかわらず選択が可能です。地域医療枠についてはへぎ地医療拠点病院等への勤務、県民医療枠については中核公的病院への勤務に関して地域医療支援センターと調整いたします。なお、総合内科専門医を目指す専攻医志望の方が、サブスペシャリティを決定していない場合、紀北分院内科として内科研修も可能です。

ローテーション例

県民医療枠コース

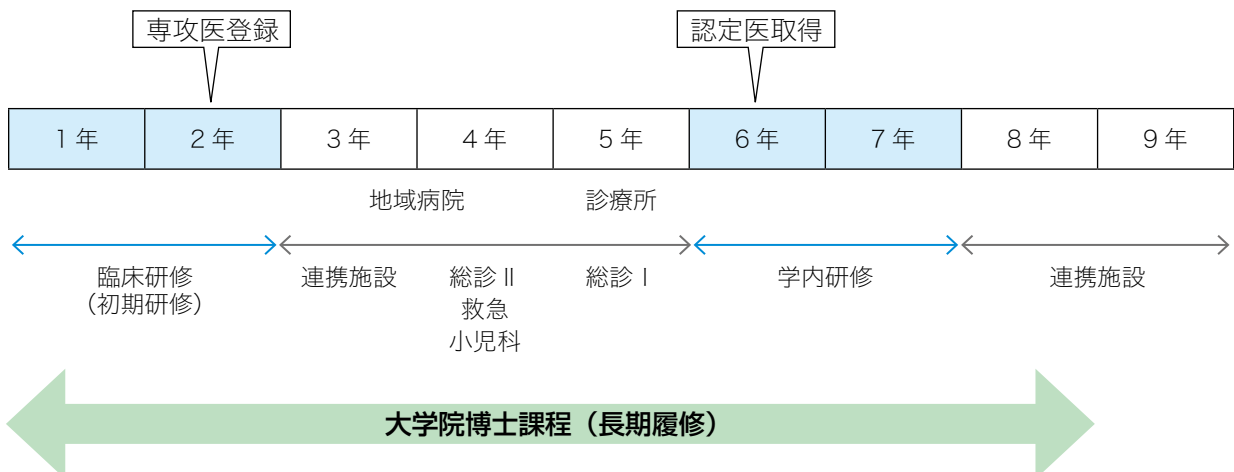
※ □ は学内研修



ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



研修目標

- 1) 一般的で頻度の高い健康問題 (common diseases) に対して診断、治療ができる。
- 2) 患者や他の医療スタッフと対等で良好なコミュニケーションを形成でき、必要な情報を交換することができる。
- 3) 地域医療・看護・介護施設の役割を把握し、スムーズな連携を行うことができる。
- 4) 医療安全や感染対策、医療経済など病院管理に関する基本知識を身につけ、日々の診療に生かすことができる。
- 5) 診療上の疑問や興味に対して適切な情報収集を行い、さらに医学研究につなげ、発信することができる。

教授からのメッセージ



廣西 昌也 教授

昔の「お医者さん」はいろいろな領域の病気を診察していましたが、医学が進歩するとともに、医療も専門化・細分化の一途をたどってきました。しかしながら日本社会は高齢化とともにがん、動脈硬化性疾患、認知症、フレイル、ロコモティブシンドローム、サルコペニアなど高齢者に特有の疾患が増加し、地域医療において地域の生活を守る医療、総合診療に対する社会的要請が高まっています。専門的な知識や高価な機器を用いた医療と、身近な医療の橋渡しとなるのがジェネralist (総合診療医) です。すべての領域においてスペシャリストであることは困難です

経験目標

専攻医の到達目標として、総合診療医として地域包括ケアを実践するための知識、医師としての専門技能 (診察、検査、診断、処置、手術など)、経験すべき疾患・病態 (ショック、急性中毒、意識障害などの症候や、貧血、頭痛、骨折など) 等があり、和歌山県総合診療専門研修プログラム (卒後臨床研修センターHP参照) に詳細が記載されているので参照されたい。

が、地域医療を行うに際して効率的、実益的な知識を有機的に身につけていくことで、地域の方々に貢献していけることがジェネralistの自負と矜持になります。また日常診療特有の問題を掘り下げ、研究活動につなげていくことで医学に貢献することも可能です。紀北分院内科には本院の専門内科から定期的にスタッフの派遣をいただいております。カンファレンスでは専門性を超え、知識や技術をオープンに伝え合い、刺激しあっています。専攻医の先生方が、専門という枠に縛られずに、人を見 (見、診、観、看)、調べ、考え、伝え、善意のもとに他人に関わっている舞台として紀北分院内科を提供したいと思っております。医学データを正確に判断・処理できるとともに、患者さんの生活を理解し、柔軟で心のこもった医療を地域に提供できるよう、ジェネralistマインドを持った先生の参集を心からお待ちしています。仲間とともに成長しながら、成長と奉仕を喜びとし、プライドを持って未来の地域医療を支えていきましょう。



当科で取得可能な専門医と指導体制

総合診療専門医コースにおける研修施設を示します。総合内科研修施設については内科系専門科と共通です。

研修施設		研修内容
和歌山県立医科大学附属病院紀北分院	基幹施設	総合診療Ⅱ、内科
和歌山県立医科大学附属病院	連携施設	救急
紀南病院	連携施設	総合診療Ⅱ、内科、小児科
橋本市民病院	連携施設	内科、小児科、救急
すさみ病院	連携施設	総合診療Ⅰ、総合診療Ⅱ
生協病院	連携施設	総合診療Ⅱ、内科
那智勝浦町立温泉病院	連携施設	総合診療Ⅱ
白浜はまゆう病院	連携施設	総合診療Ⅱ、に内科
南和歌山医療センター	連携施設	内科、救急
日本赤十字社和歌山医療センター	連携施設	救急（第一救急部）
国保野上厚生総合病院	連携施設	総合診療Ⅱ、内科
高野山町立高野山総合診療所	連携施設	総合診療Ⅰ
国立病院機構和歌山病院	連携施設	総合診療Ⅱ、内科
公立那賀病院	連携施設	内科、救急科、小児科
国吉診療所及び長谷毛原診療所	連携施設	総合診療Ⅰ

当科では総合診療専門医（家庭医療専門医）および総合内科専門医の資格を取得できます。総合診療医研修に関しては常勤の2名の特命指導医がおり、また紀北分院内科には、本院内科系講座から定期的に医師の派遣が行われており、随時代謝・内分泌、消化器、腫瘍・呼吸器、循環器、神経、腎臓の専門医からの指導を受けることができます（医師の交代あり）。また大学院に入学し、地域疫学や認知症などのテーマについて研究を行うこともできます。本人の希望により、本院各科との学内留学や学外留学についても考慮いたします（入学枠によって制限があります）。